

大河ドラマで注目の幕末外交！ 完売した横浜開港資料館の人気図録『外国奉行と神奈川奉行』 復刊に向け、クラウドファンディングを 9 月 26 日より開始

公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団が運営する横浜開港資料館（所在地：横浜市中区）は、2024 年の特別展で完売し、現在も多くのお問い合わせが寄せられている公式図録『外国奉行と神奈川奉行』の復刊を目指し、2026 年 9 月 26 日（土）よりクラウドファンディングプラットフォーム「Syncable」にて事前予約型の支援募集を開始いたします。

2027 年の大河ドラマで
注目の幕末外交

完売した人気図録を
復刊したい！

 横浜開港資料館
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY



クラウドファンディングサイトへは
QR コードからアクセスできます。

クラウドファンディング 実施概要

名 称：【目指せ復刊】大河ドラマで注目の
幕末外交！横浜開港資料館の人気
図録『外国奉行と神奈川奉行』を復
刊したい！

期 間：2026 年 9 月 26 日（土）～11 月 29
日（日）

目 標：33 万円

プラットフォーム：Syncable

主な支援コース：購入事前予約 図録 1 冊：
3,300 円、購入事前予約 図録 1 冊
と動画講座視聴チケットのセット：
4,000 円 など

なぜクラウドファンディングなのか？

皆様の中には「売り切れたなら、すぐに増刷すればいいのでは？」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。実は、博物館の図録増刷には、当館や博物館特有の構造的な課題が存在します。

図録の初版は「展覧会用の予算」で制作されます。しかし、完売後に増刷をおこなう際は、展覧会が終了しているためミュージアムショップなど「別の予算」から費用を捻出しなければなりません。また、ミュージアムショップでの図録やグッズの売上は、単なる制作費の回収にとどまりません。得られた収益は、貴重な歴史資料の修復や保存、次回の展覧会の調査など、当館が横浜開港の歴史を次世代へ継承していくための大切な活動に充てられています。そのため、売れずに在庫を抱えるリスクや赤字リスクがある過去の図録の復刊に踏み切るのは難しく、確実な販売の見通しを立てる必要があります。

そこで当館では、単なる「図録の事前販売」とにとどまらず、地域の貴重な歴史を次世代へ継承するための新しい資金調達の形として、クラウドファンディングに挑戦します。皆様からのご支援（事前予約）により復刊を実現し、その収益を今後の文化財保護活動へと繋げてまいります。

誌面の見本です。
初公開資料を含む約 250 枚の図版、
専門研究者による充実の論考を収載



初公開資料を含む約 250 枚の図版、専門研究者による充実の
論考を収載した図録は幕末の外交や地域の歴史を知る上で
非常に重要な記録です。

お問合せ先

横浜開港資料館 副館長：青木祐介 担当課長：羽毛田智幸 広報担当：加藤七海

Tel.045-201-2100